

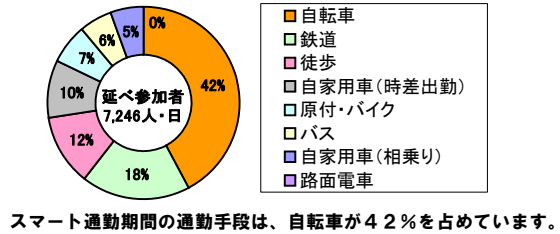
『スマート通勤おかやま2013』 実施結果(9月30日～10月4日実施)

1. 参加状況及び CO₂・体内消費カロリー・ガソリンの削減(増加)量と削減(増加)率

●参加状況

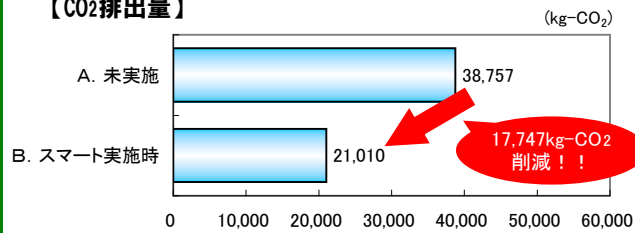
参加事業所数	109事業所
個人参加者数	35人
総参加者数	2,409人
普段はマイカーを利用されている方	1,506人
普段からスマート通勤をされている方	903人

●スマート通勤期間中の通勤手段



●スマート通勤期間中の「CO₂」削減量と削減率(参加者2,409人の結果)

【CO₂排出量】

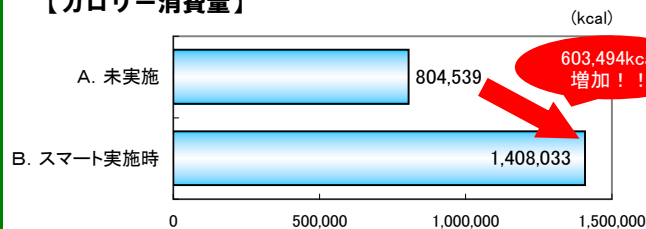


C.削減量(A-B)	17,747 kg-CO ₂
D.削減率(C/A)	45.8 %

約17.7t-CO₂は、約1,268本のスギの木が1年間に吸収するCO₂量に相当するものです。

●スマート通勤期間中の通勤時の「体内消費カロリー」増加量と増加率(参加者2,409人の結果)

【カロリー消費量】

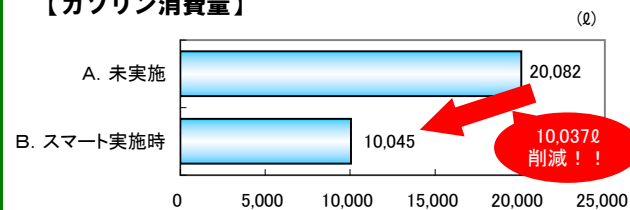


C.増加量(B-A)	603,494 kcal
D.増加率(C/A)	75.0 %

一人当たり平均した増加量約251kcal(ショートケーキ約0.8個分)は、ジョギングを約33分間実施した場合の消費カロリーに相当するものです。

●スマート通勤期間中の「ガソリン」削減量と削減率(参加者2,409人の結果)

【ガソリン消費量】



C.削減量(A-B)	10,037 l
D.削減率(C/A)	50.0 %

一人当たり平均した削減量約4.2lは、150円/lとすると、約630円の節約になります。

備考) 「A. 未実施」は、参加者のみなさまがスマート通勤をされない場合の数値です。

「B. スマート実施時」は、参加者のみなさまがスマート通勤をされた場合の数値です。

「C. 削減量」「D. 削減率」の結果は、AおよびBの各値の小数点以下の数値および結果数値の丸めにより誤差が生じる場合がございます。

CO₂排出量: 「国土交通白書」(国土交通省)

(※スギの木は、樹齢50年程度のもので、1年間に約14kg(地球温暖化のための緑の吸収源対策:環境省林野庁)のCO₂を吸収するとして試算しています)

カロリー消費: 第6次改定日本人の栄養所要量(厚生労働省)

(※カロリー消費は、年齢45.7歳(岡山県平均)、体重を男性65kg、女性を55kgとして計算しています)

燃料消費量: 「メーカー公表車種別燃料消費率」(国土交通省)

2. スマート通勤おかやま2013アワード

今年度で7回目を迎えた「スマート通勤おかやま」。今回も大変多くの方々にご参加いただきました。今年度は、様々なランキングから、特に貢献していただいた団体を、表彰させていただくことになりました。

★スマート通勤おかやま2013大賞



岡山ガス株式会社

※各種ランキングから総合的に判断して決定させていただきました。

●スマートチーム賞

参加者数が多い事業所が対象です。

第1位	倉敷記念病院	201人
第2位	岡山ガス株式会社	186人
第3位	社会福祉法人 旭川荘	176人
第4位	株式会社両備システムズ	101人
第5位	有料老人ホーム せいわ	92人

●地球にエコで賞

CO2排出の削減量が多い事業所が対象です。

第1位	岡山ガス株式会社	約1.09t
第2位	シャープタカヤ電子工業株式会社	約0.79t
第3位	株式会社両備システムズ	約0.59t
第4位	両備ホールディングス株式会社両備経営サポートC	約0.59t
第5位	社会福祉法人 旭川荘	約0.59t

●地球にエコで賞(一人当たり部門賞)

一人当たりのCO2排出削減量が多い事業所が対象です。

第1位	株式会社山陽新聞社	約41.5kg
第2位	中電技術コンサルタント(株)岡山支社	約28.1kg
第3位	倉敷高等学校	約22.6kg
第4位	株式会社岡山情報処理センター	約22.2kg
第5位	株式会社 研美社	約19.3kg

●カラダにエコで賞

体内消費カロリー増加量が多い事業所が対象です。

第1位	社会福祉法人 旭川荘	約3.6万kcal
第2位	岡山ガス株式会社	約3.5万kcal
第3位	株式会社両備システムズ	約2.8万kcal
第4位	倉敷記念病院	約2.0万kcal
第5位	両備ホールディングス株式会社両備経営サポートC	約2.0万kcal

●カラダにエコで賞(一人当たり部門賞)

一人当たりの体内消費カロリー増加量が多い事業所が対象です。

第1位	両備教育センター	約736kcal
第2位	中国電力株式会社 岡山支社	約638kcal
第3位	株式会社日建	約617kcal
第4位	株式会社 中島商会 本社	約554kcal
第5位	株式会社サンキョウ エンビックス	約485kcal

※一人当たり部門賞は参加者数が2名以上の事業所でのランキングです。

●スマート貢献賞

第1回～第7回全てに参加された事業所が対象です。

- ・倉敷記念病院
- ・キョクトウ(有)
- ・井原市役所
- ・(株)山陽設計
- ・(株)荒谷建設コンサルタント岡山支社
- ・全国共済農業協同組合連合会岡山県本部
- ・中電技術コンサルタント(株)岡山支社(順不同)
- ・介護老人保健施設福寿荘
- ・カルビス(株)岡山工場
- ・岡山県民共済生活協同組合
- ・(株)ナイカイアーキット



※連続して同一事業所名で参加されている事業所です。

●スマート新人賞

初参加事業所の中で、特に貢献していただいた事業所が対象です。

株式会社 シーエム・エンジニアリング 岡山支社

○初参加事業所の参加人数

第1位	株式会社 シーエム・エンジニアリング 岡山支社	24人
第2位	内山工業株式会社 小橋本部	15人
第3位	中国電力株式会社 岡山支社	9人

○初参加事業所のCO2排出削減量

第1位	株式会社 シーエム・エンジニアリング 岡山支社	約0.20t
第2位	株式会社岡山情報処理センター	約0.18t
第3位	中国電力株式会社 岡山支社	約0.13t

※今回参加登録していただいた事業所名での参加が初である事業所でのランキングです。

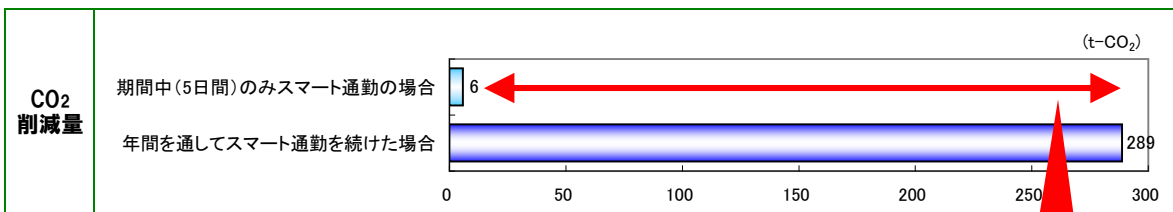
○初参加事業所の体内消費カロリー増加量

第1位	株式会社 シーエム・エンジニアリング 岡山支社	約7.2千kcal
第2位	中国電力株式会社 岡山支社	約5.7千kcal
第3位	株式会社岡山情報処理センター	約3.8千kcal

※ランキングには、スマート通勤おかやま実施事務局(岡山市、岡山県、倉敷市、国土交通省岡山国道事務所)や公表不可とご回答いただいた事業所は含まれておりません。

3. 普段はマイカー通勤の方が、年間を通してスマート通勤をされた場合の効果

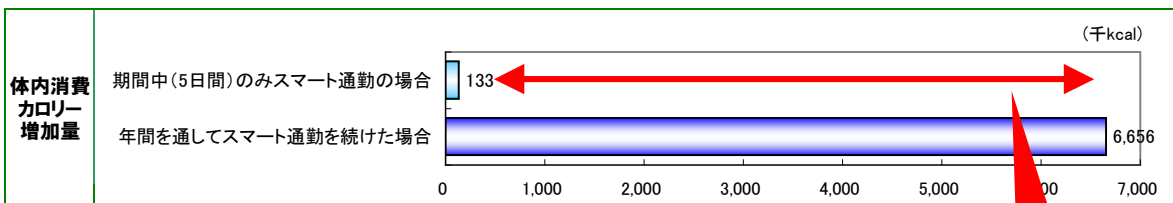
今回、スマート通勤期間中のみスマート通勤を実施していただいた方（普段はマイカー通勤をされている方）が、年間を通してスマート通勤をされた場合、さらに効果がアップします！！



普段マイカー通勤の方が、年間を通してスマート通勤された場合、CO₂削減量は約280t-CO₂(スギの木約2万本の吸収量)増加します。



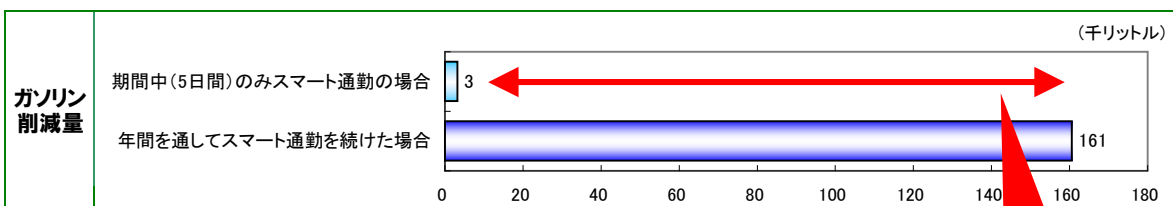
さらに
約280t-CO₂
削減！



普段マイカー通勤の方が、年間を通してスマート通勤された場合、カロリー消費量は、約6,500千kcal(ショートケーキ約2万2千個分、ジョギング約1万4千時間で消費分)増加します。



さらに
約6,500千
kcal消費！



普段マイカー通勤の方が、年間を通してスマート通勤された場合、ガソリンの削減量は約160千リットル増加し、150円/リットルとすると、約2.4千万円の節約になります。



さらに
約160千リットル
削減！

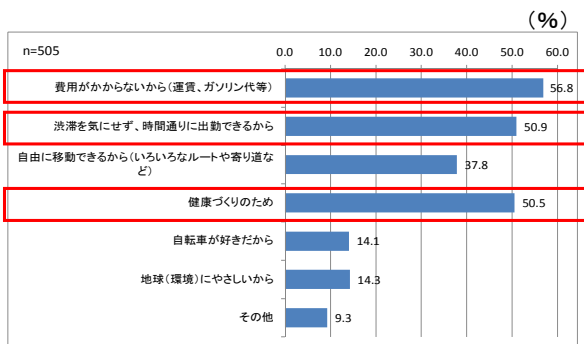
※普段はマイカー通勤されている参加者1,506人での効果です。
※年間は250日として計算しています。

4. 自転車通勤をされた方の声

今年度のスマート通勤では、昨年度に引き続き、自転車通勤のメリットをお示ししたパンフレットを作成し、自転車でのスマート通勤を呼びかけました。
 自転車でスマート通勤に参加していただいた方のお知らせします。

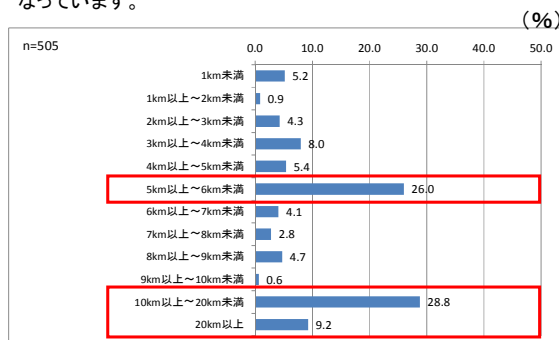
●自転車通勤をする理由

「費用がかからない」「時間通り」「健康」が主な理由となっています。



●自転車通勤が可能な距離

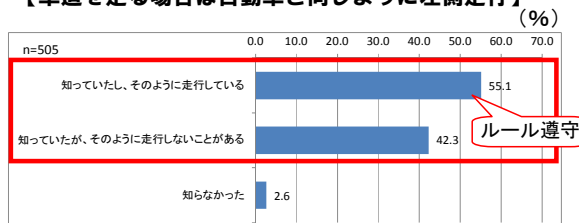
5～6kmという、自転車で走るのにちょうどよい距離の方が多くなっています。10km以上でも可能という方の割合も30%以上となっています。



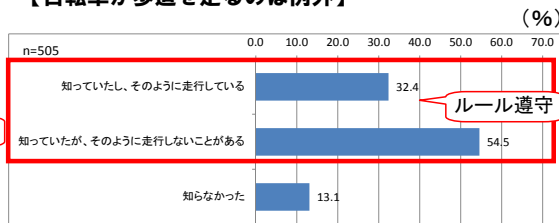
●自転車ルールの認知度

「自転車で車道を走る場合、左側走行」というルール、「自転車が歩道を走るのは例外」というルールはともに8割以上の方に認知されていますが、実際にルールを守っている方はそれぞれ5割、3割程度となっています。

【車道を走る場合は自動車と同じように左側走行】



【自転車が歩道を走るのは例外】



●自転車通勤を行ってよかったこと(代表的な意見)

【健康づくり・気分転換等に有効】

- ・糖尿病持ちなのですが、数値がかなり改善され、腰痛ヘルニアで長年苦しめられましたが現在では腰痛は激減いたしました。
- ・生活習慣病が徐々に正常値の戻りつつある。

【通勤時間が読める・早い】

- ・天候などによる渋滞を気にする必要がないため、毎日決まった時間に家を出ることができる。
- ・通勤時間が計れ時間に余裕がある。仕事の時間にも余裕ができる。

【新しい発見、寄り道ができる】

- ・普段、車では通らないところを通る事ができるため、ふらっと立ち寄った通りで新たな食堂を発見し、美味しいものを食べる事ができた。

【季節感や自然を感じられる】

- ・通勤経路に木々が並んでいる場所があり、春は桜、夏は新緑、秋は紅葉と季節の変わり目をゆっくりと肌で感じる事が出来る。
- ・夏の暑さは大変だが、それはそれで帰宅後のビールが楽しめる。何よりも通勤の雑踏に悩まされることがないのがいい。

【仕事の能率アップ】

- ・渋滞でイライラすることがないため、通勤時にストレスを感じる事がなくなった。また、勤務前に汗をかくことで、頭をリフレッシュすることが出来ていると思う。

【コミュニケーションができる】

- ・通勤時に会おう中学生が最初のうちは挨拶をかえしてくれませんでした。最近では中学生から挨拶してくれるようになりました。

今年も多くの方に自転車通勤を行ってよかったエピソードを教えてくださいました！